

経営比較分析表（平成28年度決算）

京都府地方独立行政法人京都市立病院機構 京都市立京北病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	50床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	ド透訓	救臨へ
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	4,529	第1種該当	10：1	

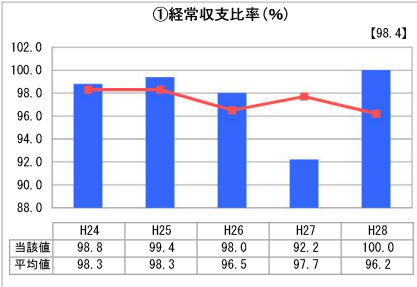
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

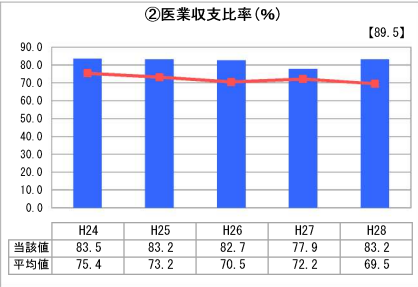
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
38	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	38
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般＋療養）
38	-	38

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 平成28年度全国平均

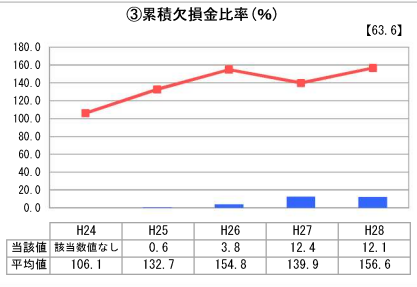
1. 経営の健全性・効率性



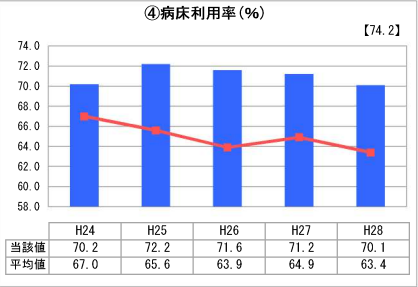
「経常損益」



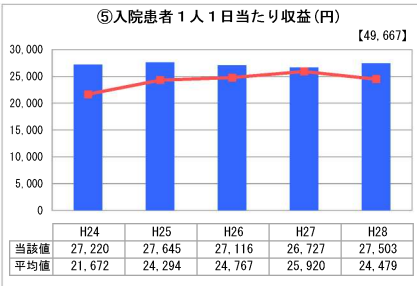
「医業損益」



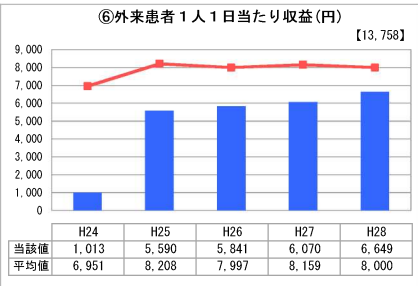
「累積欠損」



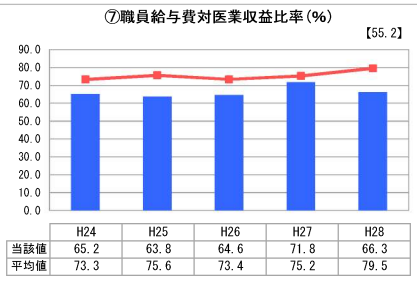
「施設の効率性」



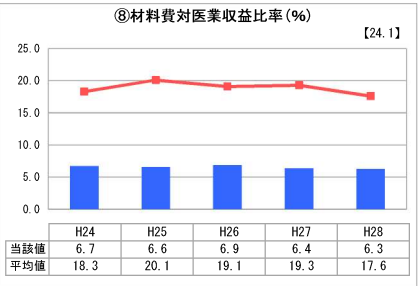
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

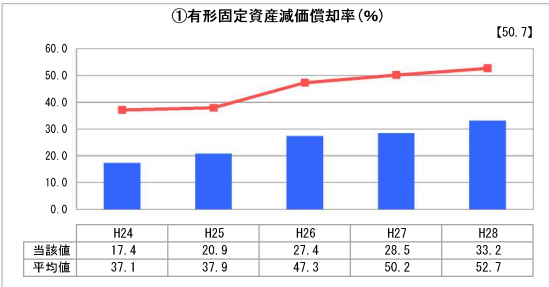


「費用の効率性①」

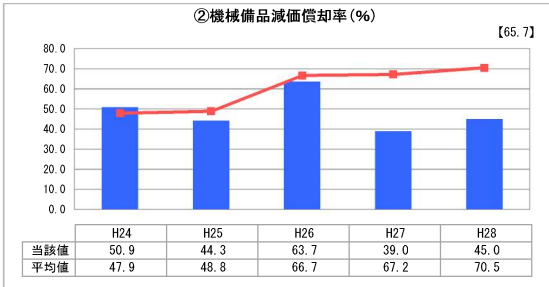


「費用の効率性②」

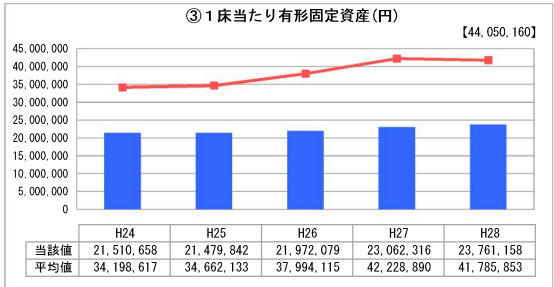
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

地域唯一の病院として、京都市立病院との連携の下、訪問診療・訪問看護等の在宅医療機能を強化することで、地域に根差した医療・介護を提供する地域包括ケアシステムの拠点としての役割を担う。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

第2期中期計画（平成27～30年）の2年目に当たり、地域包括ケア病床の開始や訪問診療の強化等により、④病床利用率は前年を下回ったものの⑤入院患者1人1日当たり収益及び⑥外来患者1人1日当たり収益が前年度を上回っている。その結果、①経常収支比率は大幅に増加し、類似病院平均値を上回っている。

2. 老朽化の状況について

器械備品において、医療機器等の更新により②器械備品減価償却率が前年度を上回っている。また、②及び①有形固定資産減価償却率において類似病院平均値を下回っているものの、建物については一部で築後35年を経過しているものがあり、対策について検討することが求められる。

全体総括

地域包括ケア病床の開床、積極的な訪問診療・看護の提供、市立病院との間の患者送迎車を活用した高度な医療の提供に努めるなど医療機能を拡大した。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。